JAF エアロビック競技・採点規則 2017-2020 追加・削除・訂正内容 (2019 年 4 月 1 日から適応)

JAF 審判委員会 2019.2.8 作成

※赤字部分が今回追加・削除・訂正部分

第1部:「公式競技」規則 第1章 ~ 第7章

ページ	変更前	変更後
P2 左側 2.2 使用曲 2. 文章 の訂正と削除	2. 使用曲は、CD または MD で提出すること。素材には使用する曲 1 曲のみを録音すること。 主催者は、録音状態・内容の確認は行わないため、提出する音源の他に、不測の事態に備えて数枚の音源を準備すること。 (提出した音源と異なる素材で録音した音源を少なくとも1 枚用意することが望ましい) 選手の不備により再演できなかった場合は、失格となる。	2. 使用曲は、CD で提出すること。素材には使用する曲 1 曲のみを録音すること。 主催者は、録音状態・内容の確認は行わないため、提出する音源の他に、不測の事態に備えて数枚の音源を準備すること。選手の不備により再演できなかった場合は、失格となる。
P5 左側 ◆実施の際の基本 ルールの表、「ミックス・ペ ア/トリオ/グループ部門」 の区分を訂正・文章追加	「ミックス・ペア/トリオ/グループ部門」 ・全ての難度エレメントは、選手間で接触することなく実施 ・ 全ての難度エレメントは、同時またはカノンで実施(身体の向きや方向は自由)	「ミックス・ペア/トリオ部門」 ・全ての難度エレメントは、選手間で接触することなく実施 ・全ての難度エレメントは、同時またはカノンで実施(身体の向きや方向は自由) ・全員が同じ難度エレメントを実施しなければならない。 「グループ部門」 ・全ての難度エレメントは、選手間で接触することなく実施 ・最大2個の異なった難度エレメントは同時に1回のみ実施可で、難易度の低い難度エレメントが評価される。 それ以外の難度エレメントはミックス・ペア部門やトリオ部門と同様に、全ての選手が同じ難度エレメントを同時またはカノンで実施(身体の向きや方向は自由)しなければならない。
P5 右側 3.6 リフトの実施[ミックス・ペア/トリオ/グループ部門]の訂正・文章追加	リフトの定義: 最低 1 人の選手の身体がフロアから離れて、腰の位置が下で支える選手の肩の位置よりも上に持ち上げられることをいう。リフト開始時、下で支える選手は立位であること。	リフトの定義: 最低 1 人の選手の身体がフロアから離れて、腰の位置が下で支える選手の肩の位置よりも上に持ち上げられた正確なポジションを見せることをいう。リフト開始時、下で支える選手は <u>直立</u> であること。
P5 右側 3.6 リフトの実施[ミックス・ペア/トリオ/グループ部門] ◇ 実施の際の基本ルールの 4 項目目の訂正	・持ち上げられている選手の腰の位置が、下で支える選手 の肩の位置よりも下になっている動作、または下で支え る選手が動作の開始時に <u>立位</u> でなかった場合には、その 動作はリフトではなく、「コラボレーション」と認識される。	• 持ち上げられている選手の腰の位置が、下で支える選手の肩の位置よりも下になっている動作、または下で支える選手が動作の開始時に <u>直立</u> でなかった場合には、その動作はリフトではなく、「コラボレーション」と認識される。
P5 右側 3.6 リフトの実施[ミックス・ペア/トリオ/グループ部門] *実施の際の基本ルールの7項目目の文章追加	 リフト実施中の禁止動作は不可だが、アクロバティック・エレメントの実施は可。持ち上げられている選手がリフトされている最中にアクロバティック・エレメントを実施する場合には、アクロバティック・エレメントの実施回数にはカウントしない。 リフトに関与しない選手のアクロバティック・エレメントの実施はカウントされる。 	リフト実施中の 3/4 回転宙返り以外の禁止動作は不可だが、アクロバティック・エレメントの実施は可。持ち上げられている選手がリフトされている最中にアクロバティック・エレメントを実施する場合には、アクロバティック・エレメントの実施回数にはカウントしない。 リフトに関与しない選手のアクロバティック・エレメントの実施はカウントされる。
P5 右側 3.6 リフトの実施[ミックス・ペア/トリオ/グループ部門] * 実施の際の基本ルールの 8 項目目の文章追加	トリオ/グループ部門では、下で支える選手あるいは 持ち上げられている選手が複数いる場合でも、最低 1 人の選手がリフトの定義を満たしていればよい。	 トリオ/グループ部門では、下で支える選手あるいは持ち上げられている選手が複数いる場合でも、最低 1 人の選手がリフトの定義を満たしていればよい。 リフト実施中のプロペリング動作で、空中位の選手が軸を問わない回転動作(宙返り動作やひねり動作、身体の旋回動作)を 1/1 回転を超えて行ってはいけない。
P6 右側 4.5 主任審判員 2. 審査の表の「H.」の内容に 追加	D 演技時間の違反(±5 秒を超える違反) E 20 秒以内に競技エリアに登場しない F リフト不実施または 2 回以上のリフト G 禁止リフト H 禁止動作 I 3 個以上のアクロバティック・エレメントの実施の実施 J 2~10 秒の演技の中断	D 演技時間の違反(±5 秒を超える違反) E 20 秒以内に競技エリアに登場しない F リフト不実施または 2 回以上のリフト G 禁止リフト H 禁止動作またはコラボレージョンでのプロペリング I 3 個以上のアクロバティック・エレメントの実施 J 2~10 秒の演技の中断

P7 右側 48 難度審判員 2審 査 3 項目目の最後に文章 を追加と2 項目の追加 ※これら文章の追加によ り P7 の後半部分が P8 へ 移動	メントは同時に1回 メントが評価される	おいては、最大2個の異なった難度エレ 回のみ実施可で、難易度の低い難度エレ るが、2回の実施があった場合は、2回 さない(評価点: 0.0 点)。	施可で、難易度の低い難 回目の評価点は与えない <u>る。また、異なった難度工</u> なるが、難度エレメントの ・ミックス・ペア部門やトリオ	、最大2個の異なった難度エレメントは同時に1回のみ実度エレメントが <u>評価される。2回の実施が</u> あった場合は、2 〈評価点: 0.0 点 <u>)が、難度エレメントの実施数には含まれてレメントをカノンで実施した場合にも評価点は「0.0 点」に</u> 少実施数には含まれる。 <u>部門で、もし異なった難度エレメントを選手が同時または</u> 「評価点は「0.0 点」になるが、難度エレメントの実施数には
P8	・「ミックス・ペア/ト	リオ/グル ー プ部門 全ての選手が同じ	難度エレメントを実施し、その 選手全員が難度エレメントを レメントの実施数にも含まれ	部門、グループ部門でメンバーの中の限られた選手のみの他の選手は難度エレメントを実施しなかった場合には、 を実施しなかったとして、評価点は「0.0 点」になり、難度エ いない。 ループ部門 全ての選手が同じエレメントを同時に実
左側の表内 ◆評価時の 注意点 6 項目目の内容の 訂正と7項目目の追加	エレメントを同時に た場合のみ加点さ レメントでなかった レメントの最低条件	に実施し、落下なしに最低条件を満たしまれるため、連結したエレメントが同じエい、カノンで実施した場合には、難度エキの有無や落下の有無に限らず、個々の難度点は「0.0 点」になり加点もしない。	施し、落下なしに最低条件 ントが同じエレメントでなか 最低条件の有無や落下の	を満たした場合のみ加点されるため、連結したエレメいったり、カノンで実施した場合には、難度エレメントの の有無に <u>関わらず</u> 、個々の難度エレメントの <u>評価</u> 点はいが、難度エレメントの実施数には含まれる。
			バティック・エレメントの終	ハと難度エレメントを連結で実施する場合には、アクロ 了は両足を揃えて同時に着地し、その両足での着地 脱台動作(離床)にならなければならず、それらの動作 動作を入れてはいけない。
P9	ファミリー	最低条件	ファミリー、他	最低条件
左側 ◆難度エレメントの 最低条件 A グループの 訂正	HELICOPTER (ヘリコプター)	-終了ポジションは開始ポジションと同じ方向を向く(A375 は除く) -A375 のみ、終了ポジションは開始ポジションと反対側の方向を向く	HELICOPTER (ヘリコプター)	-1/2 回転を伴わないヘリコプターの終了ポジションは、開始ポジションと同じ方向を向く -1/2 回転を伴うヘリコプターの終了ポジションは、 開始ポジションと反対側の方向を向く
P9 右側 ◆ 難度エレメントの	ファミリー		7-211 <i> </i> #	最低条件
最低条件 B グループの 訂正と追加	Support (サポート)	- フロアに接触せずに実施する	ファミリー、他 Support	- フロアに接触せずに実施する
	V-Support (V-サポート)	- フロアに接触せずに実施する	(サポート) V-Support	- フロアに接触せずに実施する
	Horizontal Support	Wenson Support,全ての Planche (ウェンソン・サポート、全てのプランシェ)	(V-サポート) High V-Support (ハイ・V-サポート)	<u>- 背中がフロアと平行である</u>
	(ホリゾンタル・サポート)	···	Horizontal Support (ホリゾンタル・サホ [°] ート)	Wenson Support,全ての Planche (ウェンソン・サポート、全てのプランシェ)
P10	ファミリー	最低条件	ファミリー、他	最低条件
右側 ◆ 難度エレメントの 最低条件 D グループの 訂正	SPLIT (スプリット)	-両脚の角度は、最低 170° にする	SPLIT (スプリット)	- 両脚の角度は、最低 170° にする
P11 左側 4.9 実施審判員 3. 減点スケールの落下の内 容の追加	… 不 可: 間違っ ロアに接触、複数			は満点からの減点) で実施、フロアに接触、複 -0.5 点
	落 下: 完全にてフロアに落ちる	コントロールを失っ -1.0 点		コールを失ってフロアに落 トロールを失って着地する
P12 ナ畑 ユ エレ ハ 九 加	♣エレメントの一般	的な減点例	♣エレメントの一般的な減	成点例
右側 ・エレメントの一般 的な減点例の最下段に追加	例	小欠点 中欠点 不可 落下 0.1 0.3 0.5 1.0	例	小欠点 中欠点 不可 落下 0.1 0.3 0.5 1.0
	 フロアへの			
	接触落下	0.3 0.5	フロアへの接触 落下	0.3 0.5
			エレメントの連結が スムーズでない	0.1
P15 左側 ◆実施審判員によ		度エレメントに特定 る減点 0.1 0.3 0.5	A グループの難度コ される派	01 03 05

	_							
る特定の難度エレメントに	フロアに2回以上、または2箇所以			0.5	フロアに2回以上、または2箇所以上接触			0.5
対する減点 A グループ の最下段に追加	上接触した			0.0	した			0.0
ジ 政 「 投 に 上 加					<u>エクスプローシブ・プッシュ・アップ・ファミリ</u>			
					一で、両手と両足のフロアからの離床が同		<u>0.3</u>	
					時でない			
					プッシュ・アップでフロアに着地する難度エ			
					レメントで、両手と両足のフロアへの着地		0.3	
					が同時でない			
P15 右側 ◆実施審判員によ る特定の難度エレメントに	- 全ての難度エレメント: 2回以」 は落下と考える。	上のフロ	コアへの	接触	- 全ての難度エレメント: 2回以上 <u>、または</u> 落下と考える。	2 箇所以_	L のフロア〜	への接触は
対する減点 B グループ	- 落下は「1.0」の実施減点になる。	ı			- 落下は「1.0」の実施減点になる。			
の内容の訂正、削除、追	Bグループの難度エレメントに特	0.1	0.3	0.5	Bグループの難度エレメントに特定	0.1	0.3	0.5
加	定される減点	0.1	0.3	0.5	される減点	0.1	0.3	0.5
	フォームが不正確	0.1	0.3		フォームが不正確	0.1	0.3	
	L-サポートと V-サポートの両脚				L-サポートと V-サポートの両脚が揃ってい			
	が揃っていない	0.1	0.3		ない	0.1	0.3	
	身体の一部がフロアに接触した			0.5	ハイ・V-サポートで、背中がフロアと平行で			
	ホリゾンタル・サポート・ファミリ			<u> </u>	ない		<u>0.3</u>	
	一で体幹/両脚がフロアと平行で	0.1	0.3		<u>ない</u> ホリゾンタル・サポート・ファミリーで体幹/			
		U. I	0.3		ホリノンダル・サホート・ファミリー C体幹/ 両脚がフロアと平行でない	0.1	0.3	
	ない						 	1
	フロアに1回接触した			0.5	フロアに 1 回接触した			0.5
					フロアに2回以上、または2箇所以上接触し		<u>1.0</u>	
					<u>t-</u>		1.0	
P16								
右側 ◆実施審判員によ								
る特定の難度エレメントに	D グループの難度エレメントに特	0.1	0.3	0.5	D グループの難度エレメントに特定	0.1	0.3	0.5
対する減点 D グループ	定される減点	0.1	0.3	0.5	される減点	0.1	0.3	0.5
の内容の訂正	フリーな足がフロアに接触した		0.3		フリーな足がフロアに接触した		0.3	
	ターン・ウィズ・レッグ・アット・ホリ				ターン・ウィズ・レッグ・アット・ホリゾンタル			
	ゾンタルの脚のポジションが水		0.3		の脚のポジションが水平位でない		0.3	
	平位でない				イリュージョンで持ち上げた脚が垂直面で			
	イリュージョンで持ち上げた脚が				完全なローテーションを描けない(180°未	0.1	0.3	
	垂直面で完全なローテーションを		0.3		満)	<u>0.1</u>	0.5	
	華直面で元宝なローナーションを 描けない(180°未満)		0.3			0.1	0.0	
	1				スプリットの開脚角度が 180° 未満	0.1	0.3	1
	スプリットの開脚角度が 180° 未	0.1	0.3]
	満							
P50 C409 の名称に追加	C409 1 1/2TURN SPLIT JUMP SWI	TCH T	O SPLI	T (0.9)	C409 1 1/2TURN SPLIT JUMP SWITCH TO S	PLIT (EN	GEL) (0.9)	
P69		_	_ T			Ī		
「4.10 芸術審判員 B.エア		劣	රි <u> </u>	1.2 点		•••	劣る	1.2 爿
ロビック・コンテンツ 💠	A^{-} AAAAAAA(1AMP)	不可	可	1.1 点	A- AAAAAA(1.	AMP)	不可	1.1 点
AMP コンテンツの速記」		1 11	_					
の最下段の訂正	$A^-A^-AAAAAA(2AMP^-)$	不	可	1.0 点	A ⁻ A ⁻ AAAAAA(2AMP <u>またはそ</u> オ	1以上)	不可	1.0 点
P77	「笠っき 取合事態」				「第7音 馭刍車能」			
F// 「第7章 緊急事態」	「第7章 緊急事態」				「第7章 緊急事態」			
右側最下部の文章の誤字		T 11 /2:	:T ~ \r	4		N.10 4 →·	L+~, · + + ·	- L/I☆☆±±
を訂正	上記以外の状況が発生した場合、ま				上記以外の状況が発生した場合、または選手の		-	
	ない事由により競技エリアへの登場が				リアへの登場が遅れた場合は、主任審判員が	検討し解決	央する。主任	壬審判員(
	任審判員が検討し解決する。主任審	判員(最高主	任審判	高主任審判員)の判断が <u>最終決定となる。</u>			
	員)の判断が <u>最終決</u>							

第1部:「公式競技」規則 付録1:「エアロビック競技」用語解説集

ページ	変更前	変更後
P1	正式名称(読み方): AMPシークエンス	正式名称(読み方): AMPシークエンス
正式名称(読み方):「AMP	➤ 解説(定義/意味): Aerobic Movement Pattern	▶ 解説(定義/意味): Aerobic Movement Pattern Sequenceの略。 AMPで
シークエンス」 解説(定義/意味)の文章	Sequenceの略。 AMPで完全な8カウントで構成され	完全な8カウントで構成された動作 <u>(音楽のフレーズの1拍目から8拍</u>
内容の追加	た動作を意味し、1つのまとまりを1セットとする。	<u>目までに合わせて実施)</u> を意味し、1つのまとまりを1セットとする。

P3	● 正式名称(読み方): フォール	正式名称(読み方): フォール
正式名称(読み方):「フォ	▶ 略称/俗称: 落下	▶ 略称/俗称: 落下
ール」 解説(定義/意味)の文章 内容の追加	➢ 解説(定義/意味): 完全にコントロールを無くしてフロアに落ちること。	解説(定義/意味): 完全にコントロールを無くしてフロアに落ちること、 <u>また</u> <u>は完全にコントロールをなくして着地すること。</u>

第1部:「公式競技」規則 付録 2:「ジュニア」「ユース 1」「ユース 2」 ルール

ページ	変更前	変更後
-		
「ジュニア」の服装規定 の	動作がわかりやすい身体にフィットしたスポーツウエアと	(男女混合シングル)
変更 ※男女混合シング	エアロビック・シューズまたはフィットネス・シューズを着	動作がわかりやすいスポーツウエアとシューズ。化粧不可。
ルとトリオを分ける	用。競技レオタードでなくても可だが、他のスポーツを想	
	起させるような特殊な衣装(バレエの衣装、競泳水着)や、	(トリオ)
	スカートは不可。化粧不可。	動作がわかりやすい身体にフィットしたスポーツウエアとエアロビック・シューズ
		またはフィットネス・シューズを着用。競技レオタードでなくても可だが、清潔でス
		ポーツマンらしい印象を全体に与えるものであること。 演劇的であったり他の
		スポーツを想起させるような特殊な衣装(バレエのチュチュなど)や、スカートは
		不可。アクセサリー等は、途中で落ちたりしないこと。 髪はスポーティにまとめ
		られていれば可。化粧不可。
左端の 7番目の欄の内容	◆必修エレメント(4個)	❷必修エレメント(4 個)
の追加	※連結せずに、MPやTR、GRではメンバーが同時に実施	※連結せずに、MP や TR、GR ではメンバーが同時に実施
		【MP、TR、GR では必修エレメントの評価点を得るには、メンバー全員が同時に
		同じ必修エレメントを連結なしで実施】
左端の下から2番目「主任	必修動作欠如:	服装規定違反(-0.2)など
減点」の訂正	-1.0 点/回	※課題動作は、実施しない場合でも減点なしとする。

第1部:「公式競技」規則 付録3:「シニア2」「シニア3」 ルール

付録 3:「シニア 2」「シニア 3」 ルール	
変更前	変更後
服装規定	服装
動作がわかりやすい身体にフィットしたスポーツウエアと	動作がわかりやすい身体にフィットしたスポーツウエアとエアロビック・シューズ
エアロビック・シューズまたはフィットネス・シューズを着	またはフィットネス・シューズを着用。競技レオタードでなくても可だが、清潔で
用。競技レオタードでなくても可だが、清潔でスポーツマ	スポーツマンらしい印象を全体に与えるものであること。 演劇的であったり他
ンらしい印象を全体に与えるものであること。 演劇的で	のスポーツを想起させるような特殊な衣装(バレエのチュチュなど)や、スカート
あったり他のスポーツを想起させるような特殊な衣装(バ	は不可。アクセサリー等は、途中で落ちたりしないこと。 髪はスポーティにま
レエの衣装、競泳水着など)や、スカートは不可。 アクセ	<u>とめられていれば可とする。</u>
サリー等は、途中で落ちたりしないこと。 髪はスポーティ	
にまとめられていれば可とし、 顔にかかるなどして表情	
がわからない場合のみ減点。	
・シニア 2: 最大 8 個 (0.1~)	・シニア 2: 3~8 個 (0.1~)
・シニア3: 最大6個(0.1~)	・シニア3: <u>3~6</u> 個(0.1~)
◆難度エレメントの選択	難度エレメントの選択
3つのグループから最低1個ずつ、合計最低3つのエレメ	難度エレメントの実施は任意で、どのグループから選択してもよい
ントを選択	
	エレメントの連結
- ② の難度エレメントに関する実施規制条件違反: -1.0 点/	-�の難度エレメントに関する実施規制条件違反: -1.0 点/回
	- 難度エレメントの反復: -1.0 点/回
	-3 個以上のエレメントの連結を実施した場合 -1.0 点/回
	ロッエリー・・・・ マルー・・・・ ロッカー・・・ ロッカー・・ ロッカー・ ロッカー・
	変更前 服装規定 動作がわかりやすい身体にフィットしたスポーツウエアと エアロビック・シューズまたはフィットネス・シューズを着 用。競技レオタードでなくても可だが、清潔でスポーツマ ンらしい印象を全体に与えるものであること。 演劇的で あったり他のスポーツを想起させるような特殊な衣装(バ レエの衣装、競泳水着など)や、スカートは不可。 アクセ サリー等は、途中で落ちたりしないこと。 髪はスポーティ にまとめられていれば可とし、 顔にかかるなどして表情 がわからない場合のみ減点。 ・シニア 2: 最大 8 個 (0.1~) ・シニア 3: 最大 6 個 (0.1~) ・ジニア 3: 最大 6 個 (0.1~)

第1部:「公式競技」規則 付録4:「難度エレメント・プールと評価点」

ページ	変更前	変更後
P12 「0.6」の上から 2 番目の欄 に A316 を追加		A316 FLAIR 1/2 TURN TO SPLIT
P13 「0.5」の上から4番目の欄 の A375 にバリエーション を追加	A375 HELICOPTER 1/2 TURN TO SPLIT	A 375 HELICOPTER 1/2 TURN OR 1/2 TURN TO SPLIT

D14	T	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
P14	A366 HELICOPTER TO LIFTED WENSON	A366 HELICOPTER TO LIFTED WENSON OR TO LIFTED WENSON BOTH
「0.6」の上から3番目の欄	×	SIDE
の A366 にバリエーション	6w	× ×
を追加	<u>_</u> ~ ~	Ew Ewi
		2 00
P14		A367 HELICOPTER 1/2 TURN TO LIFTED WENSON
「0.7」の上から3番目の欄		
に A367 を追加		× U
		Dair
		200
P14		A376 HELICOPTER 1/2 TURN TO WENSON
「0.6」の上から4番目の欄		× U
に A376 を追加		
		W .
		_
P20		(B200) PLANCHE TO LIFTED WENSON BACK TO PLANCHE
「1.0」の上から1番目の欄		
に(B200)の2個と、(B210)		THUTT
を1個追加		(B200) PLANCHE TO LIFTED WENSON BACK TO STRADDLE PLANCHE
		(D200) FLANORE TO LIFTED WENSON DACK TO STRADDLE PLANORE
		TEWIT
		(B210) PLANCHE TO LIFTED WENSON BOTH SIDES
		e di
		1+0
P20	B200 STRADDLE PLANCHE TO LIFTED WENSON	B200 STRADDLE PLANCHE TO LIFTED WENSON BACK TO STRADDLE
「1.0」の上から2番目の欄	BACK TO STRADDLE PLANCHE	PLANCHE
の B200 の難度エレメント	BY ON TO OTHER BEET BUTTONIE	
に、追加	Solved to the state of the stat	
		>l >l
		Two I
	/ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
	•	
		B200 STRADDLE PLANCHE TO LIFTED WENSON BACK TO PLANCHE
		0 0
		THWT
P36	C409 1 1/2TURN SPLIT JUMP SWITCH TO SPLIT	C409 1 1/2TURN SPLIT JUMP SWITCH TO SPLIT (ENGEL)
C409 の難度エレメント名		
の追加		
P38		C426 SWITCH SPLIT LEAP 1/1TURN
「0.6」の上から1番目の欄 にC426を追加		-
1~0420で担加		Z
P38		C437 SWITCH SPLIT LEAP 1/1TURN TO SPLIT
「0.7」の上から2番目の欄		
に C437 を追加		Za
		=======================================
	1	
P46		
		588 BUTTERFLY 1/1 TWIST TO PUSH UP
「0.8」の一番上の欄に		588 BUTTERFLY 1/1 TWIST TO PUSH UP
		588 BUTTERFLY 1/1 TWIST TO PUSH UP
「0.8」の一番上の欄に		588 BUTTERFLY 1/1 TWIST TO PUSH UP Pe
「0.8」の一番上の欄に		Be
「0.8」の一番上の欄に C588を追加 P50 「0.8」の上から1番目の欄		588 BUTTERFLY 1/1 TWIST TO PUSH UP P D148 4/1 TURNS 4
「0.8」の一番上の欄に C588を追加 P50		Be
「0.8」の一番上の欄に C588を追加 P50 「0.8」の上から1番目の欄 にD148を追加		Pe 4 D148 4/1 TURNS 4 O
「0.8」の一番上の欄に C588を追加 P50 「0.8」の上から1番目の欄 にD148を追加 P50		Pe
「0.8」の一番上の欄に C588を追加 P50 「0.8」の上から1番目の欄 にD148を追加		Pe 4 D148 4/1 TURNS 4 O

第2部:「チーム競技」規則 エアロビック・ダンス部門 / エンジョイ・チーム部門

ページ	変更前	変更後
「エアロビック・ダンス部門」5番目の欄の「服装」の訂正		 動作がわかりやすいウエアとエアロビック・シューズまたはフィットネス・シューズを着用。競技レオタードでなくても可。演技のテーマに沿った演劇的な衣装も可だが、帽子、スカーフ、アクセサリー、小道具等は不可。 着脱も不可。

	 は不可。 着脱も不可。 髪は公式競技のようにきっちりまとめなくても良いが、清潔な印象を与えなかったり、顔にかかって表情がわからないような髪型は不可。 個々の衣装は異なってもかまわないが、全体として調和していること。ただし、戦争、暴力、宗教を想起させるような衣装は不可。 	 髪はスポーティにまとめられていれば可とする。 個々の衣装は異なってもかまわないが、全体として調和していること。 ただし、戦争、暴力、宗教を想起させるような衣装は不可。
「エンジョイ・チーム部門」6番目の欄の「服装」の訂正	服装規定 原則自由。ただし、途中で着脱したりせず、最初から最後 まで変わらない服装であること。帽子、スカーフ等の着用 も可だが途中で落ちたり、外れたりしないものであること。 戦争、暴力、宗教を想起させる衣装は不可。着ぐるみ/仮 装不可	服装 原則自由。ただし、途中で着脱したりせず、最初から最後まで変わらない服装であること。帽子、スカーフ等の着用も可だが途中で落ちたり、外れたりしないものであること。 戦争、暴力、宗教を想起させる衣装、着ぐるみ、仮装は <u>避ける。</u>
「エンジョイ・チーム部門」8 番目の欄の「禁止動作」の 訂正	リフト不可 / アクロバティック・エレメント不可(側転のみ 可)	選手が直立で、1 人以上の選手を高く持ち上げたり、アクロバットのような動作は不可(側転のみ可)
「エンジョイ・チーム部門」 10 番目の欄の「採点基準」 の訂正	 ◆エンジョイ度を中心に、採点後、上位チームにそれぞれ適した賞名をつけて発表 ◆審査は10点満点を0.1単位で採点 ・ ・ 貸名 (例) ・ MVP 賞(最優秀賞) ・ 優秀賞 ・ チームワーク賞 	 ◆エンジョイ度を中心に、採点後、上位チームにそれぞれ適した賞名をつけて発表 ◆審査は 10 点満点を 0.1 単位で採点。 <u>最終得点は、採点した審判員の得点の平均値から主任審判員の減点を引いた得点となる。</u> ・賞名 (例) ・MVP 賞(参加チームと審判員の投票により決定) ・優秀賞 ・チームワーク賞
「エンジョイ・チーム部門」 11 番目の欄の「主任減点」 の訂正	・側転以外のアクロバティック・エレメントを行った場合・・・ -0.5点/回	・側転以外のアクロバットのような動作を行った場合・・・-0.5点/回

第3部:「フライト競技」規則

一	iA:]	
ページ	変更前	変更後
最初の頁の右側の「競技方法」の欄の最下段の訂正	* オープン・エクササイズ: 競技エリアに広がった選手が、競技会リーダーのリードに従って一斉に同じ動きを行う。 競技は徐々に運動強度を上げていき、最終的には事前に連盟 HP 等で公開された"課題ルーティン"(第3版 技能検定2級程度、BPM140~150)を繰り返し実施する。	* オープン・エクササイズ: 競技エリアに広がった選手が、競技会リーダーのリードに従って一斉に同じ動きを行う。 競技は徐々に運動強度を上げていき、最終的には事前に連盟 HP 等で公開された"課題ルーティン"(第3版 技能検定2級程度、BPM <u>130</u> ~150)を繰り返し実施する。
4番目の欄の「服装」の訂正	服装規定 動作がわかりやすい身体にフィットしたスポーツウエアを 着用し、シューズはエアロビック・シューズまたはフィット ネス・シューズを使用する。 競技レオタードでなくてもよ いが、 他のスポーツ競技の服装(バレエの衣装、競泳水 着など特定のウエア)は不可。 本部主催の競技会ではゼ ッケンを身体の前面に付ける。	服装 動作がわかりやすいスポーツウエアとエアロビック・シューズまたはフィットネス・シューズを着用。競技レオタードでなくても可だが、 <u>清潔でスポーツマンらしい印象を全体に与えるものであること。 演劇的であったり他のスポーツを想起させるような特殊な衣装</u> (バレエのチュチュなど)や、スカートは不可。アクセサリー等は、途中で落ちたりしないこと。本部主催の競技会ではゼッケンを身体の前面に付ける。